

ノーストス週報

潮騒 21

漫画人生

毎度ありがとうございます。

○昔はマンガのことをポンチ絵といったようで、いふごろからあつたものか、くわしくことは知らぬが、吾々子供のころにはすでに北沢樂天などといふポンチ絵があつた。だいたいコッケイを旨としたもので、現代のマンガの味より淡白なものだつたと思う。

○今ん日ではマンガがこまかく分れて政治マンガ、社会マンガ、子供マンガ、家庭マンガなどの分野で、それそれ高度に成長してゐるようだ。私の青年時代には岡本一平、という政治マンガ家があつて、朝日新聞にすぐれた政治マンガが、時の政府や、国民党を政治問題の上から巧みに捉えて皮肉、諷刺、をとばし笑わせたものである。

戦前のことだが、アメリカの一新聞に天皇のマンガが出て物議をかもしたことがある。日本は自国を世界に冠たる大帝国だと自負していた時代だから、いやしくも日本の皇室、その中心でおわします天皇をマンガにするとは何事かというのであるが、アメリカなどの感覚では、ヒロヒト（裕仁）であろうか、ベルトであろうか、元首として甲乙はあり得ない。

鼻のとんがつたニクソンもマンガになるし、描き背負つたヒロヒトも、けつこうマンガになる。ヒロヒトをマンガにして何がわかるいと。アメリカは思つていいだろうし、一天万乘の大君と、アメリカあたりの成り上りと一しょにされてたまるか、あやまると抗議した。一た駄米大使も困つたことであろう。それがあらぬか、戦前戦後を通じて、日本のマンガ家も、天皇家をマンガ材料にしたこと、実際表現した皇室マンガというものはないらしい。

しかし、私の記憶では、常陸の宮様を火星人には立てたマンガを一度見たことはある。宮様を決して馬鹿にしたものではないが、足のびよろりとした火星人の想像から受けた印象と、常陸の宮の眞面目な受け方印象と、かか例ていふ点であるが、そういう感じを狙つたマンガだと記憶するが、ま、戦前だつたら軍部あたりが問題にしたかも知れない。皇室の方に危害を加えることを目標にした割合の運動さえ起つていて、皇室マンガ化などよりひどく悪性な感じを受ける。

第1515号
昭和五十年
五月十七日
月曜日発行
DIRETOR
Koiti Mori
REDATOR
Shohō Miyatake
RUA 10 de Novembro 882 C.Post.112 Fone: 340 BASTOS E.S.P.
ANUAL Cr. 65.00
前金 Adjunt

HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas 271 C.Postal 60, Fone 92



ルア ブレジデンテ ヴァルガス ニセ
食堂 プリマベーラ
ホテル 森川

生活の安定に備えて果樹園造成を
果樹園成功の秘訣は苗木の良種を採用す
優良な苗樹は農林省公認の
蘭の苗本は全般的有名な蘭園と特約を
して優秀苗を安価にて提供しております。
○只今ソナオを巡回して居ります。よろしく
お申しあげます。
庭木生垣、植林用苗木、花木苗、ツツジ、ツバキ、
モクレン、モミジ、モモロイヒイラギ等一切

御相談ください

FLORA & BASTOS
T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.

Rua Duque de Caxias 524 - F C.Post 171, Fone 29

森元苗木本舗へ

郵便番号
電話番号

○最近の話題としててはやされているロッキードましい事件などは、社会マンガ、政治マンガとして取り上げれば格好の題材である。思玉を蹴飛ばす右翼、児玉郎へ突進お雇行機、悪名高い紅丸、政府高官のビクビク顔、野党必死の追及など、どれ一つをとっても少しだらすと笑えないものがあるたようだ。

マンガは面白いだけではいかぬ。三木なら三木、田中なら田中と、その人物によく似ていなければだのだと似せようとする、多少違が硬くなるが、これはある程度やむを得ないと彼はいっている。

清水昆(故人)は例の河童や鯨のマンガを独創して名を上げた人だが、彼の着眼は、カバの世界も、人間の世界も同じであるが、それはカッパという表現を用いて、人間の生活の面白さや、つまらなさを指的しようとしたもので、ある程度成功してじるよう思われる。

○たじていのマンガ家は、ある時期は二人三人とかわった個性の人物を創り出し、その人物に命名し、作家独自の思想や想像や希望を仮託し、又は実行させて面白がってじるようであるが、それを見て多くの読者もけつこう喜んでいるのである。

私の知合の日本画家に時々マンガを描く人があつたが、この人のマンガは一枚もので、ほとんど墨絵で、一筆のなぐり描であつたが、絵らしく鑑賞できる程の佳作が多かつた。たとえば、犬の噛み合だとか、鬪鶴の図であるか、二匹の犬の貌が共産黨の宮本と創価学会の池田にそっくりである。説明も何もなく、時局や人物を揶揄しているだけのものであるが、捉えどころが面白い。そういうのもマンガの分野であろう。

また、マンガのつづきものも愉快なもので二年も三年も週刊誌などに掲載して読者をあきらめないのがある。

たとえば、サトウ・ワンペイの夕日くんなどとか、長谷川町子のサザエさんなどは有名だし、横山泰三、隆一兄弟の線描きの妙味にも捨てがたいものがある。

アメリカマンガには、犬と子供が会話をしたり、小禽と大が話をしたりする生物同志の思考を平等にしたりすることなども作者の思いつきであろう。子供も喜ぶか、大人が見て生み出している。子供も喜ぶか、大人が見て生み出している。子供も喜ぶか、大人が見てもけつこう楽しい漫画が多い。これは十分、二十分と時間をかけるので、現実との間隔がたち切られ、映画の中に入り込む時間が長いので、一こまの漫画を見ていくより興味があるのであろう。

○吾々は世界中を旅行したわけではないから、マン画のない国はあるまいと思う。ソ連のようにむずかしい国にもマンガがあり、多少日本向きてないか、「すりくつぽい絵を見たことがある。やはりマンガは、マンガであった。

国々によつてものの考え方や、習慣の相違があるから、向うの人か面白いことでも、日本人におもしろくないこともあります。國々に

病院よりのお知らせ



このたび左記のように眼科を開設致しました。御利用下さい。

毎金旺日午後一時から

海野 勲先生

眼の治療及び眼鏡の度を調べます
眼の手術もいたします

バストス病院

各 位

よつて表現がちがうから、マンガに於しても
一様とはいがたい。
支那や朝鮮のマンガは見たことはないが、
どんな漫画があるだろう。

バイキング (1)

○「バイキング」って何だろう。実は何のことかわからず、ある旅行家の手記をよんでもそれが八世記から十世記にかけて世界を荒しまわった海賊民族の名称であると知つて、実は驚いたのである。私が学がなしため知れぬとか、ただけで、驚くことはないのかも知れぬが、少しばかり『歴史』の世界史の中では、その片鱗にさえ触れることはなかつた。

紀元前三世紀ごろ民族の大移動があつて、東洋では今のシベリア辺で猛威を奮つていた芬ズ族が裏海黒海辺まで移動したり、インド民族の一部がヨーロッパへ流れて行つたり、欧洲辺の民族も、それそれ東西に移動してい乍ら前進したものであろうが、その頃既に國家を建設したものは少く、歴史の示すところでは、古代エジプト、古代ペルシャ、ギリシャ、ローマ、東洋では周以前殷時代が挙げられる程度である。欧洲のフランスやドイツ、スペインなどは蛮族の寄合いで、長いこと

バストス明老会々員慰安のため

浪曲会を催します

一、日時||来る五月三十日(日)夜七時

一場所||バストス綜合会館

神崎典五郎車下り

田中虎若

唐人お吉

未石春若

涙の花嫁姿

中野光蒸

番場の忠太郎

富士寿々夢

乃木大将と孝行兵士

松田松風

バストス明老会では前記の通り浪曲会を催しますので、老人の外一般のもおいで下さい。

誠に申かねますが、世話をの方は、席準備のため六時にお集り下さい。

バストス明老会

キモトの南下によつて植民地を奪われ、飢餓と病魔が拡かり、悲惨な末路を辿つた。

つづく
糸音

ブラジルに最初の足跡を印した人達

65

故 鈴木南樹翁の遺著からノ

籠詰の入った箱を一々開けて、海水を浴びて銷ひついているものと、無病のものと撰り

分けるのは大変な労作であつたら、眼の前には船の切削面が接続點からV字形に聞いている。

何のことはない、人間の腹でも手廻したようだ。不気味な感覚を與へる所へ持つて来て、或時は緩慢に、或時は急激に岩礁と船とに打ち当つて来る。其の度毎に船は大砲でも命中したような音響を起してぐらぐらと搖れる。搖れる拍子に海水かV字形の切削面に襲入して来て、夕立のような飛沫を船艤内に舞ち散らす。

恰も二六時中暴風雨と闘つて航海している船の中に居る様なもので、氣の弱い者など一時でも落付いて居れる所ではなかつた。最初は若し寝て居る間に、不意にテンペスターでも吹きまくつて、接続点がぱかりと切削し、船か岩礁の上からひっくり返える様なことはあるまい、という恐怖心が全くない認で

もなかつたが、馴れて見るとそんな心配もなく、毎日せつせと仰きつづけた。

樂しみは何とし、でも食事であった。金を出さない食事であるから、少しの惜氣もなく、カリホルニア産アスパラガスの籠詰と刀ナタ(アラスカ)産の鮭の籠詰を開ける。ソブレメーサ(桃や梨の籠詰)で、これも無論力リフルニヤ産であるが、それが食い放題である。籠詰類の食事といつても、戦争中に食う不味なものと違つて贅澤極まりないものであつた。と云つても過言でなかろう。

三日目頃から近くの漁村の人を雇つて、口上(アラスカ)伝いに出来上つた荷物類の陸揚げが始めた。云う道もなく、其の九割までは籠詰類で、アラスカ産の鮭の籠詰で、これらも無論力リフルニヤ産であるが、それが食い放題である。籠詰類の食事といつても、戦争中に食う不味なものと違つて贅澤極まりないものであつた。と云つても過言でなかろう。

くたびれた時の休息に、食堂前の甲板に出ると、三浦は何處からあんたのを持ち出したものか、此度双眼鏡を眼に当てて、テデ力の方を眺め、若し人影でも豆粒のよう大きさで砂浜を歩いて居るのを見つけると、釘付けにされた様にじつと凝視するのを常とし、釘付いた。そして三浦は、その人影が何人であるか判明するまで甲板を動かなかつた。

三浦は私に船の荷物は英國の知人から貰つ

五

たと云つた。窮すれば藁をも掴むの類いで、私はそんな事を余り詮索もせずやつて来たのであつたが、難破船艤に入つて、呉物を実見して以来、「これは怪しいぞ」と思つたが、今更どうすることも出来ないので、一言でも三浦にそれを聞き証したことがなかつた。三浦も「言もそれを打ち明けようともしなかつた。二人の活作は無言の間に進捗して行つた。しかし私は相変らず無言で、たまには、「三浦君、俺にも見せたまえ」と言つて双眼鏡を眼に当てる。テナガ・ガービア方面にかけて山々をバックとして展開した海岸線は絵よりも美しい風景である。花崗石の碎けた砂は、雪のように白く、日本の海岸なら松の木かくねつていて、幾うべくもなく白砂青松という所であるが、ブラジルのことであるから、松の代りに椰子がすくすくと立っている。それは文句がきばり来ないが、まさしく白砂青椰子である。三浦は人影に注意を払つたが、私は風景の絶美を感嘆した。それでよいのである。

ロップ伝いに水揚げした荷物は海岸の漁村の力ボーグロと契約して、ブーロでテナガ山下にあるバーから借りた小屋に運搬させた。十頭前後のブーロが一隊をなして、毎日幾回となく海岸を縫うて行く光景に双眼鏡を当てて見ると、自分たちのやつていることが、さながら小説の中にあるような気がした。一週間位で大方船のものは持ち出してしまつた。毎日双眼鏡を眼に当てて何かしら一種の不安を見せていた三浦の顔にも、時々としめた微笑が浮んだ。二人は難破船にさよならをして砂浜に下りた。

これで愈々三浦の前謂英國の知人から貰つたと云う荷物の最後の始末をつける日がやつて来た日である。三浦はリオ市から力ミニヨンを雇つてくると云つて出かけた。私は荷物をデポジットしてくるバーの小屋に残つた。束ねた荷物かブーロに依つて繰々と運搬されつあつた。小屋は半ば以上一杯であるが、未だその日一日では海岸に積み上げてある荷物全部を、十頭位のブーロでは運び来れないであろう。私はそれを考へると、喜びより一種の不安があつた。しかしそくもこれ程のことをやつてのけたものだといふ、妙な誇りめいたるものもないではなかつた。

そこえ天から降つたか地から湧いたか、三人連れの男がバーに現れた。一人は水夫のウニホルムを着、一人は背広を着ていた。バーの息子が私を呼びに来た。背広服を着た男は買収した者は私であるから「君たちの取り出された呉物のデポジットしている小屋の鍵を此方へ渡して貰いたい」という申込みである。

私は愈々三浦が双眼鏡を眺めていたが、現われたとき付いたが、しかし此處で弱気を

バンディランテ銀行より本大会の優勝トロフィーを御寄贈下さいました。
厚く御礼申上げます

バストス ゴルフ 個樂部

老童会

パンティラント銀行様

御礼

	氏名	パソディ	アルト	イン	グロス	ネット
1	片岡 平	40	55	55	110	70
2	鶴 一男	40	52	56	180	68
3	天野 昇	26	47	60	107	81
4	井上源次郎	40	58	60	118	78
5	池田俊男	18	46	48	94	76
6	佐藤弥門	27	51	52	103	76
7	島本繁雄	35	61	53	114	74
8	上村六郎	31	54	51	105	74
9	古賀一敏	28	51	58	109	81
10	森下正義	28	52	52	104	76
11	鶴 義雄	20	49	46	95	75
12	本山 義秀	27	48	57	105	78
13	大野英雄	20	51	57	108	88
14	嵯峨三男	28	53	52	105	77
15	竹内義輝	20	53	48	101	81

労働祭老童軍ゴルフ大会

	氏名	アルト	イン	グロス	ネット
1	片岡 平	55	58	130	73
2	鶴 一男	57	61	118	78
3	天野 昇	46	50	96	70
4	井上源次郎	59	56	115	75
5	池田俊男	50	46	96	78
6	佐藤弥門	54	51	105	78
7	島本繁雄	60	54	114	79
8	上村六郎	58	57	115	84
9	古賀一敏	52	54	106	78
10	森下正義	53	59	112	84
11	鶴 義雄	53	55	108	88
12	本山 義秀	56	58	114	87
13	大野英雄	52	45	97	77
14	嵯峨三男	54	62	116	88
15	竹内義輝	52	56	180	88
				209	169

見せてけんらかいと思つて、
「私達は難破船の呉物を貰つたのであるから
君に鍵を渡す理由を認めません」

とさつぱり断つた。ところが、私の言葉

「ボル・ケ？」

と三人口を揃えて驚く聊んだ。

君が漁船の呉物を貰つた事が事実とせ

私と温泉

3

前山南嶺

その美男のマッサージがすんだとき、何か油のような物を体に塗つたので、それを落すためにシャワーを浴びる。物凄い圧力の水が二時位の鉄管から四散して体に落下するのである。この方が気持ちが良い。丸損でもなかつたかと安心する。後で柔道着のような厚い温泉浴衣を着せられ、今度は例の泥湯へ行く。達をかけてはいるが、部屋へ虎の子の入った着物を置いて来たのが気がかりだ。

温泉は異様な真黒いドロドロとした湯が湯槽に一杯入っている。風呂場の三助君のゼラードと云う精悍な老人が私の腕を掴み、デヴアガールと助けて呉れろ。どうだかうだ。シャボンよりツルツルとした真黒な湯である。やっと入ったが、仲々体の重心がとれない。ようやく頭で支えながら体を沈める。泥が入つていろせいか、浮揚力が強くてなかなか体の均衡がとれない。すべり込むと大変だ。女性が此の風呂に入るには困るのではないかと要らぬ事まで心配する。三助君に、「この湯には特別に薬を入れているのか」と訊くと、「何も入れない、自然の泥と水である」と教えてくれた。

やがて体の筋肉が柔かくなるのを感じる。神経痛の痛み廻を揉んでいると、尚痛みが強くなろ。やかて五分間もすると楽になつて痛みも去つた。戻のせいか、湯のせいか、三十分度半の湯温で二十分間、樂になつたようだ。こんな、力まぬるい湯では、と思つたが、頭から玉の汗が顔を伝つて流れ。髪の毛が湯に浸らぬのに汗でひつしょりになつた。やがてブザーが鳴つて、SMAEYAMA・T.E.M.P.Oとアナウンスの女の声・エレトロニコの時間計算機のシャーベを外す。これで一回の風呂かすみ、次は足のかかと一分間熱さに耐えて、又汗だくだく、来る時着て来た力ミーサメイアは鞄に入れ、シャツ一枚で清々しくなる。五クルセーロスを三助君に与えると、ムイト、オブリガード、セニヨール、前山と、ちゃんと名前を知つてゐる。少女に渡して、ブールに行く。此廻の受付の少物とお金とプロッカに入れて鍵を受けたの痛い廻を厚いタオルで蒸し湿布である。二十分間熱さに耐えて、又汗だくだく、来る時外の受けは皆既婚者らしく、眞面目らしくしない。眞面目か警戒心か分らない。チツフの先持も今から出来ないし、人の心を推察しない。だから少女よりタオルを貰つて、ブールに入る。五、六人がブールで泳いでいる。浅い所で私の首までの深さ、したがつてマルテ一口組

は、このブールでは泳げないことになる。ことも楽しいブールである。

バトリでの練習を発揮して二、三回往復する、さすが外人たちはよく泳ぐジャボネースだと言つ頬をしているが、セニヨール、ナードベンとは言わない。彼ら金持階級のオルグリヨがそれを云わせないものと私は見てとつた。

狭いブールで長居は無用と思つてサツと引き、タオルを貰つて着物を着る。虎の子の金か無事であることを確かめてから、逃げ出で金を無くすると都合をつける方法がなければ、特に不安なものである。これで一日のスケジュールが終つた。此の様にして毎日課が続くのであるが、次の日からは診察書の規定を破つて毎日泥の湯と硫黄湯の水中マッサージの風呂に二日分を一日ですまし、突貫治療をする。一々入場券を買つて入らねばならぬので忙かい事である。

此の温泉は丁度ローマの昔のカラカラ帝の浴場に似て、中央がまん丸くて放射形になつていて、各浴場に入るようになつてゐる。それに別れると便利ではあるが、それまでに余りの大きさに呑まれてしまふ。とかくあ

次号へつづく

VENDE - SE FABRICA DE MACARRÃO TUPÃ

マカロン五場譲ります

工場の建物の大きさ八角×十七メートル
マカロン製造の設備一切つき
住宅の広さ 九角×十一メートル
敷地の広さ 五十メートル×四十メートル

すぐそのまま営業できます

御希望の方は直接當方へおいで下さい。
ツパン市・チフテシテス街 二十一番地

伊藤一郎

御礼

バストス開拓館ムゼウ世話人

金一・〇〇〇・クルセイロス也
金三・〇〇・クルセイロス也

山中みどり様

右の通り御寄を戴きました。厚く
御礼申上げます。

梅谷光貞氏と海外移住組合

故 輪湖俊午郎氏

四、壯図の一翼

日本人のミナス州進出に關しては、田付聯合会理事長の會つて駐伯特命全權大使たりし時代より再度その実現を計策されたが、都度その機を得ずして當時に及んでいたのであつた。

梅谷理事が此の州に我が移住地の建設を着眼したのには抑も二つの理由があつた。其の一つはブラジルに対する高踏的政策に見地を有していたのであつた。由来ミナス州はブラジル二十一州中、サンパウロ州に匹敵すべき有力な州であつたが、その中央政権に対する勢力は輓過隣接サンパウロ州の急激なる産業の発達及び南リオ・グランデ並みにバイア諸州の勃興に伴い、漸く安佚たるを許さざる壯態となつた。それ故ミナス州は自州の経済力を拡充の為め、時に日本農民の移入或は技術家並に資本家の招致等間断なく懇願する所であつたか、日本政府にその意志なかりし為めか、一つとして実現を見るに到らなかつた。斯る事情を梅谷理事は能く承知していたので、此の戦争に移住組合の力を以つてミナス州に酬い、兼れど日本移植民のサンパウロ州集中に於ける政治的将来に備えんと決心した。

理由の二は、北伯前進の前提とした根拠地

の築営にあって、これは梅谷理事の、ブラジルに対する日本移民政策の一翼とも見なすべきものである。即ちエスピリト・サント及びバイアの州境に横たわる無辺の沃土に一塹を築かば、ここに植えつけられた日本民族はやかて必ず々北上するに相違なく、北上してアマゾンに到らば北伯政策は半はかると考えたのである。右に対し他の一翼たる南伯政策はパラナ河流域の廣袤を南下しつつ南米大陸の中核を侵すにあつた。即ちチエテの土地買収、バストス、北パラナの移住地建設等皆前前提として述べられたのである。

甚だ遠大な石の理想追及の第一着として梅谷理事は、先づ移地建設の意志をミナス州当局に表明し、或は打診、或は折衝すると共に、この運動と併進して自ら州土地局の指示せる宣有地リオ、ドーセの流域を踏査することに決した。此の調査は、前後二回に亘りて行われ、第一回はエスピリト・サント州ヴィクトリア港より、更に二回目はミナス州ボンテリオ、ノーヴァ方面よりであつた。即踏査区域はリオ、ドーセの本流を測つたフイゲーラを中心として、その支流サスイ、グランデの上流と、ラウル、ソアーレスよりリオ、ドーセの上流を下つた一帯の原始林である。調査面積推定約五十万町歩。露營につぐ露營、果しながら大森を或は馬の背に、或は徒步で強行軍を續けたのであつた。或時の事である。岸に

御案内

サンパウロ市

富岡耕村氏（清治代）

「信仰と俳句」と云題で

講話があります。どなたも御来聴下さるよ御案内申上げます

とき：五月十五日（土）午後八時

会場：バストス福音ホールネス教会

翌十六日（日）午前十時より礼拝にて

とき：午後二時より婦人会にこ

耕村氏歓迎俳句会席題

会場：宮崎北眠居にて

会期：十六日（日）夜七時より

沿うて丸木舟を上流に進めて店たれ、水面遙かにさしのべた大樹の枝に見事な蘭の花が咲いていた。一行がこれに見とれしると、不思議や一羽の小鳥が奇声を発しつつ、怪しき羽ばたきと共に、次第に件の大樹の根元に引き寄せられて行くではないか。一行の視線も自然これに従うと、こわそも如何に、一足の大蛇かその小鳥を睨みつつ吸寄せてくるのであつた。正に探検隊挿話の一つに倣いする。右調査の目的は勿論土地選定である。交通、地味、地勢と如何なる農作物に適するかを研究するにあつた。

サスイ、グランデの両岸は地味地勢共に遺憾なしと思われたが、此の地に移住者を送る事せば、其の門戸をヴィクトリア港に求めねばならぬ關係にあり、從つてサンパウロ州に本部を有す移住組合としこは、その指揮統制に少なからぬ不便あるのみならず、リオ及ペロ、オリゾンテ方面へ輸出すべき農産物は非常に迂廻となるをまぬかれない。又他方リオ、ドーセの上流に土地を選定するとせば、門戸はリオ港となり、甚だ交通不便となるも、此の地帶は何方山獄重疊として地勢に難点を有する。斯くてその難れに定むべきかに就き、梅谷理は心を碎き、今一度重ねてリオ、ドーセの上流を詳しく述べしめた。其の結果ラウル、ソアーレス町より一支流を下つて、アントニオ、デアスに至る森林地帯に約一万町歩内外とおぼしき平坦地を見出した旨

を得た。これに力を得て梅谷理事は漸く北部ミナス州に於ける我が移住地建設の立案を整える順序となつたのである。

即ちサスイ・グランデ一帯の豊沃なる官有地譲渡を條件とし、第一着に右の一万町歩を開拓しようと云う案を以つて、州政府と正式交渉を開始したのである。

抑もヴィクトリア港より、リオ・ドーセに沿うて走る鉄道はベルギー資本になり、其の目的は世界屈指の鉄山たるミナス州のイタビーラに到るもので、當時アントニオ・デアスによ聞通していたが、それより先きは非常に難工事のため未だ完成には到らなかつた。該鉄道全通の曉はリオ・ドーセ及びサスイ・グラシード兩川に介在する広袤け実に将来を確く約束せられたる地帶に相違なく、梅谷理事に茲に一石を投して日本民族北伯開拓の前提となる計画であつたのである。

前述の用向を以つて梅谷理事はミナス政府を訪問すること前後三回、遂に五万町歩無償譲渡の契約が成立し、州政府の責任に届せし右の土地境界測量を待つて、移住地開設に着手する事となつていた。

然るに幸か不幸かその翌年伯國に革命勃発し、連邦政府の転覆と共に一般諸州の政治も又混亂を極め、為りに州政府はかかる対外諸契約を顧ふる暇なきに到つた。

一方日本は民政党内閣となり、その緊縮政策の余波をうけて、海外事業に対する熱意を欠き、越えて翌昭和六年二月梅谷理事の退任を見るに列り、其の中心人物を失つたこの計画は、益に全く中絶の余儀なきに至つた。

斯くて社団の一翼は空しく画餅に帰したが、既に故人となつた梅谷初代専務理事のブラシルに対する遠大な抱負の一端として、永く記憶に傳すべき事と信ずる。つづく

長野県人会だより

1047

- 魚の新種（ヘヤマトカガミ）三月二十四日 水産庁淡水区研究所上田支所はこのほど飼料効率が高く経済的メリットが大きい新品种のコイの改良に成功した。同研究所が七年かかりて來た研究が実ったもので、ドイツのカミツレと日本のヤマトゴイと交配したもので、病気に強く、飼料も経済的のこと。
- 無情の寒波（四月八日） 飯田地方では桜が満開といふのに、七日急に温度が下り、北部県境の野尻湖方面は吹雪に見舞われ、三月二十日頃の気候に逆戻し、県民をとまどわせた。
- 木曽の林鉄再び主役（四月九日） 昨年五月に廃止になつた木曽森鉄道の横閑車両と、なつかしいミニ車両五〇軒が県下を中心全国に分配されることになつた。こんどは觀光、教材用に使用されることになつた。
- 真田十勇士繰り出す（四月十日）

桜満開の大坂城に時ならぬホラ貝の音と共にヨロイ・カブトの武者装束の一団が現われる、大主闘前の広場で「われわれは豊臣氏力危急存亡のとき、信州上田からはせ参じた真田十勇士と大音声。一行は上田観光協会の観光宣伝隊である。

○ 財政危機にあえぐ県の節約対策が工スカレー

ートし、係長さんも、おまわりさんも腕わくりしてホーキやチリとりを持つて奮闘しているので、新聞に出なかつた珍らしいニュースや長野県の様子を知ることが出来てありがたいこと。深謝致します。

週報社

バストス長野県人会では、バストス支都長の森元武夫氏から毎月会報を届けてくださる五一十六日午後一時から

バストス南米本願寺花まつり
五月十六日午後一時から
新尊二千六百年記念法要

第十九回灌仏花まつり法要

慶讃大演芸会

福引景品渡し

開催夜七時から

○ バストス南米本願寺花まつり

五月二十二日（日）

バストス総合会館に於いて
バストス日語普及会

教育大講演会

講師 村上重美先生

五月十四日（金） 午後八時

バストス総合会館に於いて

後援 主催 バストス日伯文化協会

○ バストス支都对抗陸上競技大会

期日 五月二十二日（日）

場所 バストス日伯文化協会

○ バストス連合青年団

